

令和5年12月7日

令和5年度  
第1回総合教育会議  
議事録

文京区

# 令和5年度第1回総合教育会議議事録

第 1 号

令和5年度 第1回会議

日時：令和5年12月7日（木）午後1時10分

場所：第二委員会室

「出席」	文京区長	成澤廣修
文京区教育委員会	教育長	加藤裕一
	教育長職務代理者	清水俊明
	委員	坪井節子
	委員	小川賀代
	委員	福田雅
「説明のために出席した区職員」	企画政策部長	大川秀樹
	企画課長	横山尚人
「説明のために出席した教育局職員」	教育推進部長	新名幸男
	教育総務課長兼	宇民清
	真砂中央図書館長	
	学務課長	中川景司

# 令和5年度 第1回総合教育会議次第

日時：令和5年12月7日（木）午後1時10分

場所：第二委員会室

## 1 開会

## 2 議題

(1) 学校給食の無償化について

(資料第1号)

## 3 閉会

## 1. 開会

(13:10)

○成澤区長 それでは、定刻でございますので、令和5年度第1回の総合教育会議を開催いたします。

## 2. 議題

### (1) 学校給食の無償化について

○成澤区長 本日は、お手元の次第にありますように、「学校給食の無償化について」を議題としております。

物価高騰の影響が長引く中、子育て家計への負担はさらに大きなものとなっており、子育て家庭が置かれた状況に合わせた対応が求められております。

本区では、この間、国による対応が好ましいということで国による対応を求めておりましたが、現下の物価高騰等の状況を受け、子育て世帯の経済的負担を軽減するために、令和5年9月から区立小・中学校における学校給食の無償化を実施しております。また、都立の特別支援学校に通う区民である児童・生徒についても、9月に遡って給付を行うことといたしました。

この後、学務課長から実施方法や課題等の報告をいたしますが、皆様方にもご意見を賜りたいというふうに思います。この間の状況としては、マスコミ報道レベルですが、東京都が区市町村実施分の半額を助成する制度を検討しているという情報もございますし、国のほうは調査の段階からなかなか進んでいないということも現状でございます。

後ほど学務課長からご説明する中に、1つの論点として、区立の小・中学校や特支に通っている子どもだけではありませんので、子育て世帯に均等に負担軽減をするという観点からは、国立や私立に行っている子どもたちの取り扱いというものも論点になっているところでございます。

私といたしましては、東京都の補助制度等もできることもあり、国立や私立の子についても一定額の補助を行うよう教育委員会と協議を進めたいと思っておりますが、その点についてもご意見をいただければ大変ありがたく存じます。

それでは、まずは学務課長から資料の説明をさせていただきます。

○学務課長 それでは、資料第1号に基づいて簡単に説明をさせていただきます。

こちらの2の「対象者」にあるように、区立小・中学校で1万3000人を超える人数、都立特

別支援学校で約 80 人程度、こちらに対する何らかのサポートを現在行っている状況でございます。ここから外れる国立あるいは私立に行っていられる児童・生徒は、小学校で約 1000 名、中学校で約 1500 名いるような状況でございます。

3の「実施方法」としましては、区立の小・中学校は無償化ということで、今まで保護者から給食費として徴収していたものをとらずに無料で給食を提供しているような状況、都立の特別支援学校、これから実施することになりますけれども、こちらは申請方式をとらせていただくところでございます。

4の「1食単価」でございますが、こちらにございますように、区立の小・中学校ではそれぞれ学年、学校に応じて単価というものを決めて給食の食材を購入している状況でございます。この単価には昨今の物価高騰を踏まえた食材費の補助分も含めて記載をしているところでございます。

5の「その他」でございますけれども、今、区長が申し上げたとおり、今、区立小・中学校、都立の特別支援学校の方に対するサポートはできている状況でございますが、今後それ以外の国立だったり私立だったりの小・中学校の児童・生徒のほうへ、どういう形でサポートしていけるかということが課題となっているところでございます。

私からは以上になります。

○成澤区長 それでは、教育委員の皆様方からご意見等頂戴できればと思います。

○清水委員 やっぱり国立・私立に通う生徒に関しての補助というのも文京区として必要であるということは賛成させていただきます。

その際に何か問題になることがもしあるようでしたら、教えていただければと思います。

○成澤区長 事務的な手続等については学務課長から。

○学務課長 先ほど申し上げたように、小・中学校については、今提供している給食を無償にするというところで、スキームとしては比較的シンプルなのかなと思っはいるんですけども、国立・私立ということでいろいろ給食にかかっている金額が違っていたり、制度も違っていたりというところで、一定そこをどういったところに合わせて給付等をしていくのかはきちんと検討していかなければならないかなと思っております。

○清水委員 それほど難しいことではないかなと思いますので、ぜひ実行していただければと思います。

○成澤区長 区立の場合は、徴収しないとすればそれで済んでしまうんですが、国立・私立の

場合は、申請をいただいて振り込みをするという形になると思います。

もう一つは、基本的には国立・私立は独自のご判断で1食当たりの給食代を定めていらっしゃるわけで、そこは当然差額が発生するんだらうと思いますが、区立の横引きをいいのかなと。

もう一つは、徴収しない場合には問題は発生しないんですが、振り込んだ場合に生活保護法上の収入認定になるかどうかという問題が実は残ってしまっていて、これは各区でも今課題になって、学務課長会でも調査をして国に意見照会しようということになっております。

私ども、高校生を養育している家庭に対する区独自の月5000円の助成制度を始めて、今、申請を受けている真っ最中ですが、この収入認定の問題についても、今、国に意見照会をしております。

都の018サポートは、最初は収入認定をするという話だったのが、国と東京都でのやりとりの結果、収入認定しないということになっていきますので、同様の取り扱いになることを期待しているところです。

**○加藤教育長** 課題ということでは、私立に行っている方の中で文京区の生徒さんと文京区外の生徒さんで、補助がある、ないというその差が同じ学校の中でできるというのがあると思っています。

実は特別区の教育長会のほうで、義務教育段階における給食費の無償化については、国に強く求めるという要望書を出しています。これは文京区の場合、私立が多いので、その会議の中で私、発言させていただきまして、私立を含めて義務教育段階ということで国のほうにそこは求めていますので、そこについてはなるべく同じ学校に行っている子は補助ができるような形の求めはしていますので、そこで一定方向性としては考えているところでございます。

**○清水委員** どうもありがとうございました。

**○坪井委員** 2つお伺いしたいんです。1つは、幼稚園でも私立でもお弁当の子どもさんたちがいるのかなと思うんですが、幼稚園の場合はまだ全然給食費のことが入ってない。幼稚園の子どもさん、給食のある幼稚園もあるでしょうし、お弁当がある、食費がかかっている。私立もそういうことがあるのかなと思うので、幼稚園の場合とお弁当の場合の支援はどうされるのかなというのが1つです。

もう一つは、これを実施することによってどれほどの経済的な負担軽減になっているのか。文京区にいらっしゃる家庭の経費からして、これがあるためにどのくらいの規模の方たちが助かったという感じを持たれるのか、その感触を伺いたい。文京区だと割と経済的に恵まれた家

庭も多いかもしれないと思いつつ、その辺の負担感とどのくらいの軽減の体感があるのかなというのを教えていただきたいなと思います。

○学務課長 おっしゃるとおりで、幼稚園は今、区立の幼稚園ですと全てお弁当というところでは、一部柳町のこどもの森という幼保一元化施設になっているところもあるので、そういったところが給食を提供している。区立でいうと今後こども園化が進んでいく中で、こども園では給食の提供をする。そこについては、むしろ幼児教育・保育の無償化に近いのかなというところはあります。そういった中で対応していくということになります。一方で、私立の幼稚園でいうところでは、今時点ではまだ何か検討しているということはない状況になっています。

もう一つ、今回の無償化ということでの感触の部分ですけども、やってもらってうれしいという声は聞いたりしているところではございます。主に区立の小・中学校になりますけれども、給食費ということをあまり気にしないで学校に来れるというところで、声にはそこまで出していなくても、保護者の方も区が行っている施策についての安心感であったり、ありがたいという気持ちはあるという認識はございます。

○加藤教育長 経済的に厳しいご家庭は今でも給食費の補助をしています。無償化することでそういった家庭もほかの家庭も一律という形になりますので、多分補助を受けているご家庭にとってはそういう意味で、公平にというところで、気持ち的な負担はかなり下がっている、自分たちだけじゃないということとそういう気持ちはあるというのは聞いております。

○坪井委員 今ざっと計算すると 300 円平均として月に 20 回、6000 円ぐらい、11 カ月ぐらいだとして 1 年間 1 家庭 6 万円ぐらいの補助という感じになりますかね。——わかりました。

○福田委員 不勉強で恐縮なんですけど、この無償化というのは恒久的な措置という理解でいいんですか。かつ、それって、区にとっての財政はどれくらいのインパクトがあるのか、参考までに教えていただきたいなということです。

あと、私立・国立、もちろん親としてはそういう補助があれば大変ありがたいとは思いますが、すけれども、私立までそういう補助、無償化したら公立校離れが進んだりしないかなとか、ちょっと気にしたり、私立に行くことの負担が、そんなに大きくないのであればということやちょっと考えたりしたんです。どちらかという跟前 2 つのことを教えていただくとありがたいです。

○学務課長 あくまで文京区の方針としては、給食の無償化というのは国が行うべきという前提には立っておりますので、今、検討中ではございますけども、国が無償化にかじを切ってい

ただければそちらのほうに集約していくようなイメージでいますので、そこが一つのゴールというふうに考えています。

あと、財政に対するインパクトというところでいいますと、今行っている区立の小・中学校に対する無償化では、年額にすると、大体7億から7億5000万といった規模感の事業になっていきます。なので、ここにさらに国立・私立が入ってくるとなると、プラス数億程度という感じにはなるかなと考えております。

**○小川委員** ちょっと教えていただければと思います。国が無償化をやることを検討しているはずということだと思いますけれども、大体どのくらいから国は無償化をしようと思っているのかということが1つ。

あとは、先ほど23区内の教育長の会があるというお話を伺ったところでも、どのくらいの区が国立・私立の負担をするというのに賛同しているというか、意見の分布というのもちょっと教えていただければと思います。

**○学務課長** 国の無償化のところは、今現在で、ここを目途にというお話は聞いてはいませんので、どの辺で実現されるのかということを含めてまだ不明というところがございます。

どのくらいの区が国立・私立を含めた無償化をということでございますけれども、こちらで把握している限りは、今年度において23区中2区が既にそちらの方向で動いております。さらに次年度に向けて1区という形になっているので、今現在私のほうで把握している限りでは来年度というところを考えますと、文京区は除きますが、23区中3区という認識でございます。

**○加藤教育長** 教育長会の賛同の意向という話ですけれども、そこで私立が多いということで話をさせていただきました。そのときはむしろ特別支援学校とか、そっちのところを補助してほしいという声はかなり多かったです。ただ、私立という声はあまりなかったです。実績として3区やっていますので、今後そういったところを見て、私立に行っているお子さんが多い区はまた状況は変わってくるのかなと思っています。ただ、文京区が一番多いのでやはりそういう状況も考えなければいけないなと思っています。

**○坪井委員** つい最近東京都の高校の無償化の記事があった中に、全国的な格差がどんどん広がっているということでした。無償化についての全国的な広がりというところはどうなんでしょうか。

**○学務課長** そこまでの広がりというところは、都内で見ても23区が先行していて、市部に少しそういう動きがあるという状況でございます。全国的ということになると、財政を含めて規模感がございますので、そのあたりはこれからなのかなと思っています。



○坪井委員 そうすると、全国的に見て東京都が先行している感じなんですか。

○学務課長 ここまで無償化の話が進む以前は、逆に地方の小さな町とか村とかの独自性というところで無償化を実施していたということがあるんですけども、やはりコロナであったり、戦争であったり、物価高騰というところが1つのトリガーのような形になって、動き始めたというところがあって、その段階になって中心となって動いているのが東京の特に 23 区というところなのかなと考えています。

○福田委員 確認させていただきたいんです。私立・国立の小・中学校というのは、文京区内にある私立・国立じゃないですよ。文京区民のということですよ。——ありがとうございます。それは大変ですね。

○成澤区長 ご意見ありがとうございました。

学校給食の無償化を国立・私立に通学する児童・生徒にも拡大するということについては基本にご同意をいただいたと思いますので、その方向で予算措置すべく教育委員会と細部を詰めてまいりたいと思います。

### 3. 閉会

○成澤区長 何かほかにご発言がなければ、第1回の総合教育会議を終了したいと思います。よろしいですか。

それでは、ありがとうございました。

(13:30)